

5) う め

(1) 防除法 (殺菌剤)

【注意】乳剤及び水和剤等で「150～3000」等と記載した10a当り散布液量（または希釈水量）は、作物の生育段階や散布作業等を考慮した目安である。農薬使用に当たっては、必ず農薬容器のラベルを確認し、使用方法に散布液量（または希釈水量）の記載がある場合は、その量を遵守すること。

病虫害名	防除適期	防 除 方 法	備 考
かいよう病	展葉初期 ～5月中旬	○ 次の薬剤を散布する。 アグリマイシン-100 スターナ水和剤	○ アグリマイシン-100は「収穫90日前まで」の登録なので、使用時期に注意する。
黒 星 病	落葉期間 (11月～3月) 5月上旬 ～6月中旬	○ 被害枝を剪除する。 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 イオウフロアブル コロナフロアブル サルファーゾル オーシャイン水和剤	○ DMI剤の使用は年2回以内とし、連用しない。 (耐性菌出現防止)
変 葉 病	生育期間 随時	○ 被害部を見つけ次第、土中に埋める等して処分する。 ○ 果樹園周辺の間宿主（ヤマカシユウ）を伐採する。	